

日韓交流登山について

先般、石川県山岳協会は設立 50 周年記念行事として、石川県の友好都市である韓国の全羅北道と交流登山を実施しました。

先ず 7 月に全羅北道の全州市山岳連盟 19 名が来日。来られたのは全員男性で、40 歳代を中心とした屈強なメンバーと小学生 2 名。

当協会のガイドで開山 1,300 年を迎えた白山に 1 泊 2 日の行程で登りました。

当日は、雨は免れたもののあいにくの天候で眺望はなし。例年は咲き誇る高山植物も雪解けのタイミングでまだ蕾。それでも韓国では経験できない 2,702 m の高峰に登ることができて皆さん大満足されていました。



下山後は金沢市に移動して交流会を開催しました。通訳数名を配置したこともあり終始賑やかな雰囲気の中で行われました。

日程の関係で十分なおもてなしはできませんでしたが、再会を約束した後お別れしました。

10月今度は我々が訪韓しました。

到着翌日、既に顔見知りの全州市山岳連盟の方々のガイドで全羅北道の全州市にある智異山ちりに向かいました。

事前に、訪韓メンバーは男女それぞれ9名、平均年齢70歳弱と伝えてあったので登山コースは智異山系では容易に登れる老姑壇の こだん（1,507m）ピーク往復に設定されていました。

また、我々のために、智異山国立公園の日本語ガイドやレスキュー隊員の同行が準備されている等全州市山岳連盟の心遣いが嬉しかったです。

当日は晴天で紅葉も始まっており、眺望を楽しみながらの登山になりました。



今回の訪韓は、石川県と全羅北道の交流であると同時に、全州市が金沢市の姉妹都市であることから両市の友好発展のための交流でもありました。

下山後に全州市庁を訪問して金沢市長から預かってきた親書の手交等を行い両市の友好関係発展に寄与できたことも大きな成果でした。



日本と韓国の間には複雑な問題がありますが、このような民間交流を通して相互理解が進むことを願っております。

最後に、今回の交流登山に尽力いただいた（公財）石川県国際交流協会、金沢市及び通訳を引き受けていただいた NPO 法人 YOU・I の関係各位に紙面を借りてお礼申し上げます。

（国際海外 森田伸彦）